

平成17年度宮古群島病害虫発生予報第3号（6月予報）

6月の気象予報

要素別予報

要 素	気 温	降 水 量	日 照 時 間
予 報	並	並	並

(平成17年5月27日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地域平均の要素別「平年並」の範囲

要 素	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日 照 時 間 (h)
宮古群島	26.5 ~ 26.9	152.7 ~ 234.0	172.7 ~ 201.5

(平成17年5月27日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

6月の発生予報 および防除上の注意事項

向こう1ヶ月間に農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

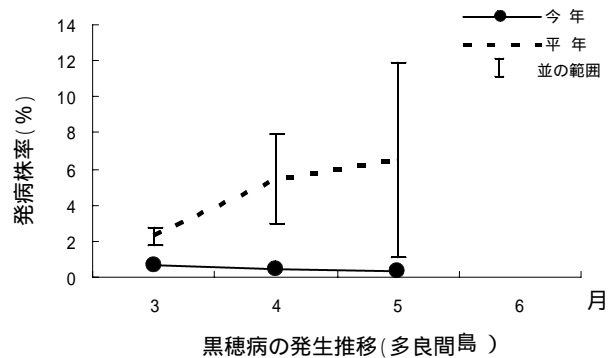
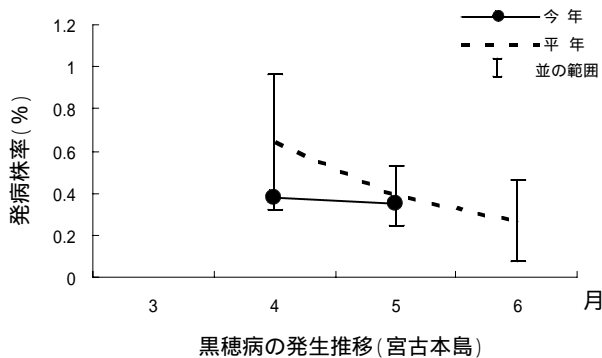
宮古群島

1 さとうきび

(1) 黒穂病

発生程度 : 並 (宮古本島、伊良部島) やや少 (多良間島)
 予報の根拠

- a 宮古本島と伊良部島における5月中旬の調査の結果、新植夏植圃場での発病株率は0.35% (前年0.53%、平年0.39%)と平年並みであった。
- b 多良間島における5月中旬の調査の結果、新植夏植圃場での発病株率は0.29% (前年1.8%、平年6.4%)と平年よりやや低かった。
- c 宮古本島と多良間島における株出しまたは未更新圃場の一部で発病株率10%以上の圃場が見られた。

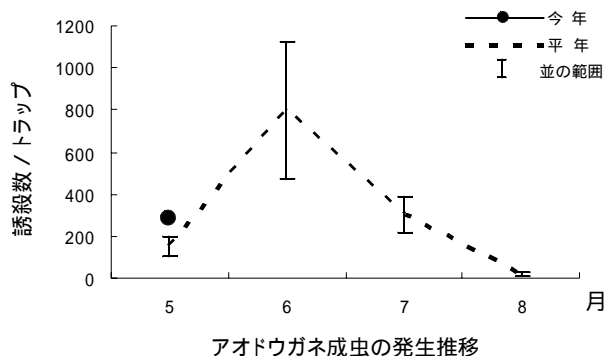


防除上注意すべき事項

平成17年度沖縄県病害虫発生予察技術情報第1号 (平成17年4月1日付け) 参照。

(2) アオドウガネ
発生程度 : やや多
予報の根拠

5月の予察灯への成虫誘殺数は284頭(前年290頭、平年154頭)と平年よりやや多かった。



防除上注意すべき事項

- a 5～7月は成虫の発生時期にあたるので、誘殺灯の管理ならびに誘殺虫の回収処分を徹底する。
- b 6月～7月は幼虫の防除適期(1～2齢期)にあたるので、被害の多い地域では防除適期を逸しないようにする。

イナゴ類の防除対策について(平良市・伊良部町・多良間村)

- a 5月中旬の巡回調査において、平良市島尻地区と多良間村大道地区の原野とその隣接サトウキビ圃場にヒゲマダライナゴ幼虫の発生を確認した。
- b 平良市と伊良部町の一部地域、また多良間村では、例年4～6月頃にイナゴ類の発生が見られる。若齢幼虫の発生源となる圃場および周辺雑草(主にススキ)に食害を認めたらその後の動向に注意する。4齢以降はサトウキビを加害するようになるため、早期発見・早期防除に努める。